

(別紙)

いつも、私たち地域住民の生活環境に関し、種々ご尽力いただいております。

7月13日の住民説明会に参加し、7月31日締めアンケートにも回答したところですが、アンケートの内容や今後の進め方について意見がありますので、以下のとおりお伝えします。

1. 今のアンケート内容と、それに対する意見

① 現行バスの評価

路線バスの利用頻度、乗車路線、利用する時間帯、利用目的、最終目的地、
路線バスの満足度（運賃、運行本数、運行ルート、始発時間、終発時間、自宅からバス停までの距離、バス会社の対応、総合的な満足度（※不満・やや不満の自由記）

② 代替の交通手段

（バスの規模について重要と思うもの、時刻と路線について重要と思うもの、支払い方法）

→【意見】●現行のバス会社が撤退するのに、「①現行バスの評価」が必要でしょうか。仮に、現状の不満や要望を抽出し、代替交通の検討に活かす趣旨であればわかりやすく、アンケート後半の「②代替の交通手段」の設問で具体的に回答者に意見を求めるほうがよいと思います。（必要な路線・時間帯、希望する運賃・運行ルート、バスの仕様への要求事項、支払い方法、その他予約をする場合の詳細方法 等）

●また、今の回答様式では、全体的に設問数と回答の選択肢が少なく、回答者が十分な意見や要望を書き込めずに送信・提出をしてしまうと思います。住民説明会で出されたような熱い意見を書ける欄はないと思いました。該当する設問を増やし、自由意見を書ける欄を大きく作るなどし、再度意見を求めたほうがよいのではないのでしょうか。

2. 今後の進め方についての提案

- 住民説明会では、そもそも廃止反対派の意見が大半でした。代替交通に前向きな人がいたとしたら、質問や意見を出しづらい状況であったと思います。札幌市の都市交通課長も、代替交通手段を良いものになりたいと考え、「地域の実情を教えて」と言っていたのに、全然伝えられていませんでした。
- 各町内会の中でも、会長、副会長、会員（住民）の意見が割れているのが問題です。住民説明会の反対派の声が住民全員の総意ではないはずですが、廃止撤廃に越したことはないですが、バス業界も市政もこの地域だけの問題ではないので、最後まで反対を押し通しても希望があるとは思えません。
- 反対すれば思い通りになる、強い口調で訴えれば何とかかなと思っている人には、そんなことはないということを理解していただく必要があります。まずは、アンケートの最初の設問で、「廃止反対を続けたいか」、「代替交通の検討を進めたいか」を2択で回答してもらい、どちらの意見が多いのかを確認・共有することから始めてはいかがでしょうか。2つの意見を総合的に判断して、札幌市への向き合い方を地区として統一の上、団結して進めていかなければ時間だけが無駄に過ぎてしまいます。
- これには、下総会長や、各地区の会長のリーダーシップが重要ですので、是非お願いします。
- 最後に、少し調べたところ、市議会議員も味方につけて「請願書」の形で正式に市に意見を提出したほうがきちんと審議してくれると思いましたので、併せてご検討をお願いします。